

9 収入状況について（税込み）

(1) 給水収益等の収入状況

給水収益現年度分の収入率は、水道事業が98.1%、鶴形簡易水道事業が98.3%となっている。前年度と比較してみると、水道事業は0.2ポイント上回っているが、鶴形簡易水道事業は0.8ポイント下回っている。

水道事業の給水収益繰越分の未収入額は8,579,617円で、前年度より681,525円の増となり年々増加している。また、不納欠損処分後の調定額26,488,259円に対する収入率は67.6%で、前年度と比較すると、0.3ポイント下回っている。

鶴形簡易水道事業の給水収益繰越分の収入率は100.0%で、未収入額はない。

収入状況の内訳は、次のとおりである。

（単位：円、％）

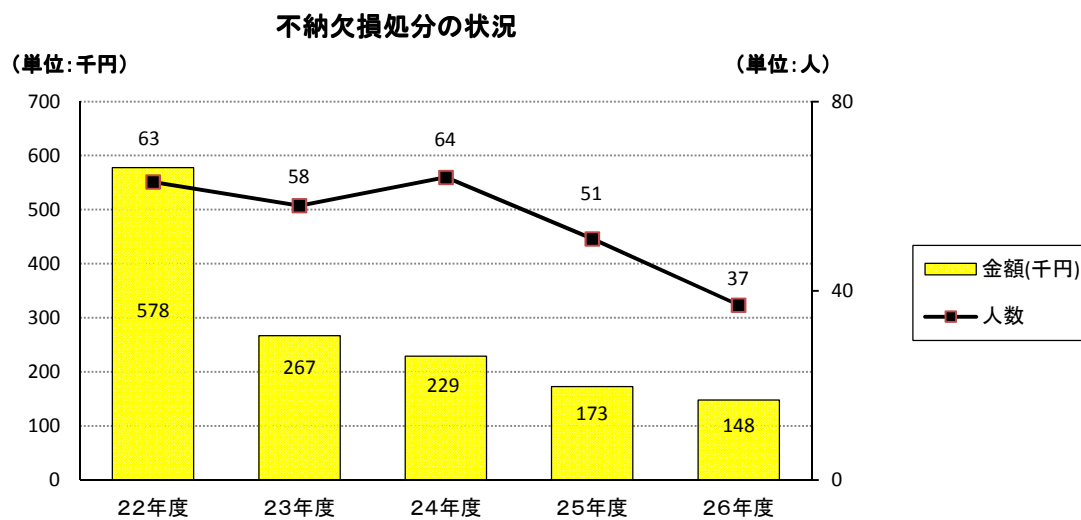
区 分			調定額	不納欠損額	差引調定額	収入額	未収入額	収入率
現年度分	水道事業	営業収益	977,658,168	0	977,658,168	957,679,341	19,978,827	98.0
		給水収益	924,626,721	0	924,626,721	907,420,361	17,206,360	98.1
		その他の営業収益	53,031,447	0	53,031,447	50,258,980	2,772,467	94.8
		営業外収益	148,937,333	0	148,937,333	148,132,333	805,000	99.5
		計	1,126,595,501	0	1,126,595,501	1,105,811,674	20,783,827	98.2
	鶴形簡易水道事業	営業収益	8,159,768	0	8,159,768	8,025,317	134,451	98.4
		給水収益	8,144,768	0	8,144,768	8,010,317	134,451	98.3
		その他の営業収益	15,000	0	15,000	15,000	0	100.0
		営業外収益	1,660,144	0	1,660,144	1,660,144	0	100.0
		計	9,819,912	0	9,819,912	9,685,461	134,451	98.6
	小 計		1,136,415,413	0	1,136,415,413	1,115,497,135	20,918,278	98.2
繰越分	水道事業	営業収益	36,392,453	148,578	36,243,875	27,664,258	8,579,617	76.3
		給水収益	26,636,837	148,578	26,488,259	17,908,642	8,579,617	67.6
		その他の営業収益	9,755,616	0	9,755,616	9,755,616	0	100.0
		営業外収益	400,918	0	400,918	400,918	0	100.0
		計	36,793,371	148,578	36,644,793	28,065,176	8,579,617	76.6
	鶴形簡易水道事業	営業収益	75,912	0	75,912	75,912	0	100.0
		給水収益	75,912	0	75,912	75,912	0	100.0
		営業外収益	491,293	0	491,293	491,293	0	100.0
		計	567,205	0	567,205	567,205	0	100.0
	小 計		37,360,576	148,578	37,211,998	28,632,381	8,579,617	76.9
	合 計		1,173,775,989	148,578	1,173,627,411	1,144,129,516	29,497,895	97.5

(2) 不納欠損の状況

不納欠損処分額は148,578円で、前年度に比較して25,011円（14.4％）の減であり、いずれも水道事業分である。対象者は37人（うち法人5社）で、前年度に比較して14人の減となっている。

不納欠損の理由は、無届転居が24人、倒産5社、死亡8人となっている。

不納欠損の推移は、次のグラフのとおりである。



10 補てん財源について（税込み）

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額（差引決算額）422,754,508円は、損益勘定の現金支出を伴わない費用である減価償却費等や減債積立金等の内部留保資金で補てんされる。

補てん財源は、水道事業及び鶴形簡易水道事業ごとに管理され、内訳は次のとおりである。

（単位：円）

区 分		補てん財源額	補てん額	残 額
水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	5,139,284	5,139,284	0
	減 債 積 立 金	168,194,681	168,194,681	0
	過年度分損益勘定留保資金	22,426,810	22,426,810	0
	当年度分損益勘定留保資金	294,387,663	225,583,521	68,804,142
	減 価 償 却 費	437,521,212		
	資 産 減 耗 費	3,467,654		
	長期前受金戻入額	-146,601,203		
	当年度分未処分利益剰余金	241,730,899	0	241,730,899
	計	731,879,337	421,344,296	310,535,041
鶴形簡易水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	358,480	358,480	0
	減 債 積 立 金	166,195	166,195	0
	過年度分損益勘定留保資金	3,331,765	885,537	2,446,228
	当年度分損益勘定留保資金	2,743,663	0	2,743,663
	減 価 償 却 費	3,447,233		
	資 産 減 耗 費	0		
	長期前受金戻入額	-703,570		
	当年度分未処分利益剰余金	5,771,656	0	5,771,656
	計	12,371,759	1,410,212	10,961,547
合 計	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	5,497,764	5,497,764	0
	減 債 積 立 金	168,360,876	168,360,876	0
	過年度分損益勘定留保資金	25,758,575	23,312,347	2,446,228
	当年度分損益勘定留保資金	297,131,326	225,583,521	71,547,805
	減 価 償 却 費	440,968,445		
	資 産 減 耗 費	3,467,654		
	長期前受金戻入額	-147,304,773		
	当年度分未処分利益剰余金	247,502,555	0	247,502,555
	計	744,251,096	422,754,508	321,496,588

上記の表にある補てん財源は、上から順に補てん財源として使用することになっており、当該年度で補てんに使用する額が補てん財源額を下回り、残った場合は翌年度に過年度分として使用することができるものである。本年度は、補てん財源額が744,251,096円に対し、資本的収支の不足額は422,754,508円であり、残り321,496,588円が翌年度へ繰り越されることになる。

11 予算議決事項について（税込み）

予算第5条企業債、第6条一時借入金、第8条議会の議決を経なければ流用することができない経費、第9条他会計からの補助金、第11条たな卸資産の購入限度額については、いずれも議決されたところに従って適正に執行されている。

（単位：円）

区 分	議 決 額	執 行 額	比 較 増 減
企 業 債	60,000,000	60,000,000	0
一 時 借 入 金	170,000,000	0	-170,000,000
職 員 給 与 費	75,894,000	74,508,529	-1,385,471
他 会 計 補 助 金	11,085,000	11,082,806	-2,194
た な 卸 資 産	4,074,000	4,060,536	-13,464